

第1学年 国語科学習指導案

日時 平成21年11月12日(木)

時間	4校時	
学級	1年A組(場所:教室)	1年B組(場所:教室)
児童	男子11名 女子10名 計21名	男子10名 女子11名 計21名
指導者	教諭 川口 寿子	教諭 松川 紀子

育てたい主となる能力(基礎・基本)

時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。(読むこと イ)

1 単元名 くらべてよもう

教材名 「じどう車くらべ」(光村図書1年上 かざぐるま)

「はしご車」(自作教材)

参考文献 光村図書1年上 学習指導書 はたらくじどうしゃ(国土社・ポプラ社)
自動車・飛行機 国語の森(学研)他

2 児童観

児童は1学期にひらがな学習を終えた後、はじめての説明文「いろいろなくちばし」を学習した。「文」「形式段落」「問いの文」「答えの文」「説明文」という用語を学び、文と挿絵を結び付けながら内容を読み取る学習をしてきた。読み取る手だてとして、音読や視写活動を行った。一文字ずつしか読めない児童も、家庭音読での協力もあり、言葉のまとまりをとらえて読めるようになってきている。板書を手がかりに、視写も全員が行っている。「いろいろなくちばし」の学習を通して、基本文型を手がかりに問いの文と答えの文を指摘することはできるようになってきたが、文末表現にまで着目している児童はまだ少ない。

3 教材観

教科書教材「じどう車くらべ」は、児童の身近にある自動車を取り上げている。四つの意味段落からなり、「話題・問題提示(第1段落)→例を挙げて説明(第2段落～4段落)」という構成になっている。問いと答えが三回繰り返し返されていた「いろいろなくちばし」の構成より少し複雑になり、問いは全体の問いとなり、答えは具体例の中に二つずつ計六つ述べられている。

第1段落の「問題提示」では、児童の自動車に対する関心を誘い、それぞれの自動車がどんな「しごと」をし、そのためにどんな「つくり」になっているかを問いかけ、読者に疑問や読みの着眼点を意識させている。第2～4段落の「例を挙げての説明」では、3種類の自動車について、「しごと」とその仕事に合わせた「つくり」が、同じ順序で繰り返し説明されている。そのため、事柄の順序を考えながら読み進めるのに適した教材であるといえる。また、読み取った事柄について、繰り返し出てくる接続語「そのために」や文末表現に着目させることで、説明文の構成や文型にも慣れさせることができると考える。

定着教材「はしご車」は、教科書教材と同様に「しごと」とその仕事に合わせた「つくり」を説明した文のほか、「つくり」以外について説明した文も含んだ教材である。その文章から答えの文を考えさせることで、「問いの文」の内容を改めて吟味し、「答えの文」はそれに対応する内容のものであることを強く意識付けることができると考えた。

4 指導にあたって

本単元では、読みの方法「問いの文と答えの文を指摘すること」を重点的に指導する。

説明文において「内容の大体を読む」ためには、「問い」を確実にとらえ、それに対応した「答え」を指摘できることが大切であると考えます。

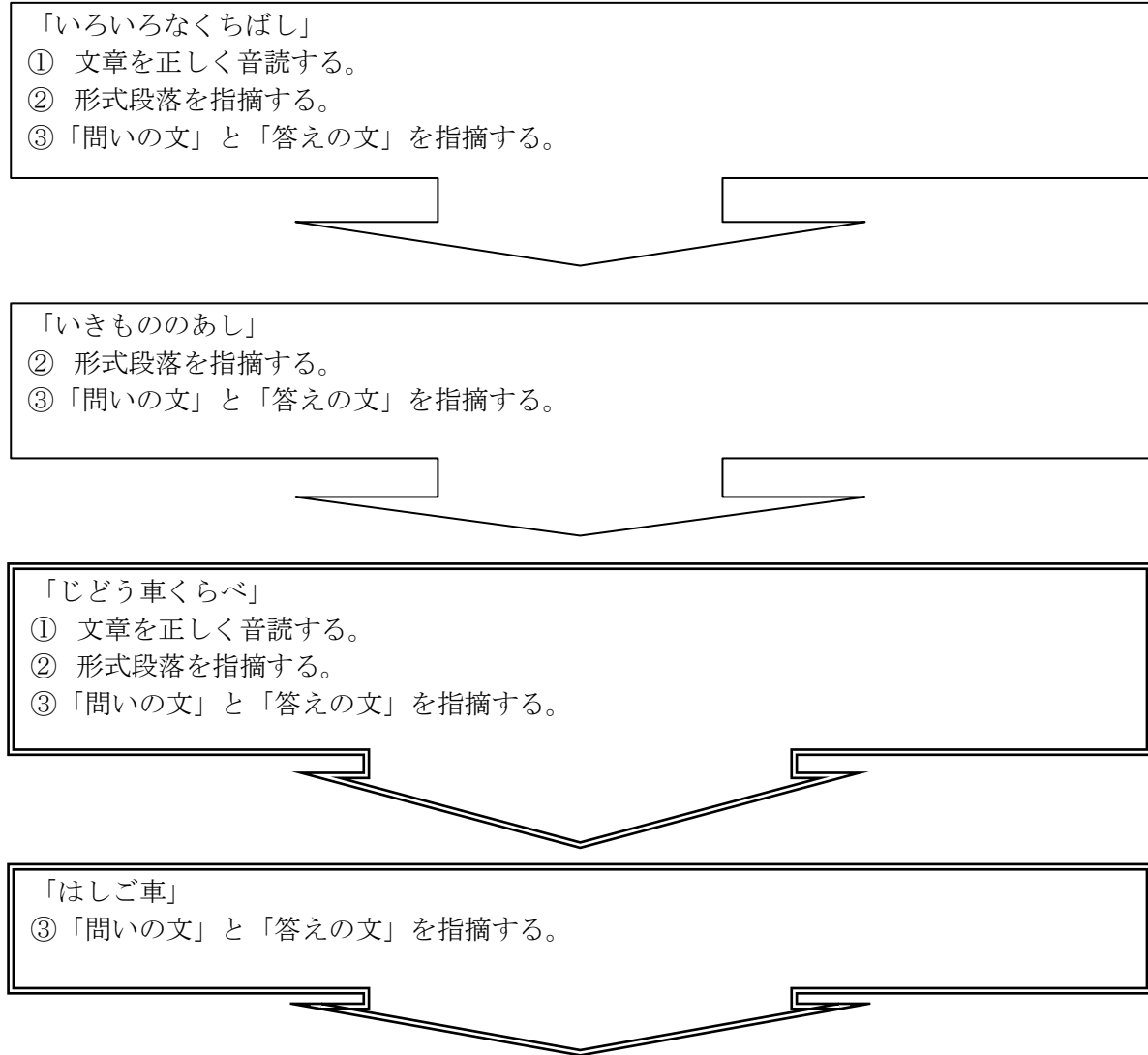
教科書教材では、問いの文から、「いろいろな自動車の仕事とつくり」を読み取っていくという課題を明確にしたうえで、説明されている「しごと」と「つくり」を読み取っていく。その際には、「～しごとをしています。」「～があります。～がついています。」などの文末表現にも着目させ、答えを指摘する際の手がかりとさせたい。「つくり」については、挿絵と結びつけながら、読み取りを確かなもの

にする。さらに、述べられている「しごと」と「つくり」との関係を正しく捉えさせるために「そのために」という接続語のはたらきにも着目させていきたい。

第3次では、はしご車について、「しごと」「つくり」以外について書いてある文も提示し、問いの文に対する答えの文を指摘させる。そして、教材文をふりかえりながら、「しごと」、「つくり」の説明の仕方を理解させるようにしたい。

第4次では、「しごと」と「そのために」という言葉を使って、自分の好きな自動車について「しごと」と「つくり」の説明文を書き、自動車図鑑作りに楽しく取り組ませたいと考える。

5 単元の系統



6 単元の指導目標

書く力	読む力	言語の力
◎ 「しごと」「そのために」を使って、自動車について文章を書くことができる。	◎ 問いの文を指摘し、それぞれの自動車の仕事とつくりについて理解することができる。	◎ 片仮名を正しく読み書きできる。

7 単元の指導計画と評価規準（全10時間 本時 A組 6/10時 B組 7/10時）

次	時	主な学習活動	評価規準
1	1	<ul style="list-style-type: none"> 全文を読み、段落分けをする。 題名について考え、知っている自動車について発表し合う。 	(関) 知っている自動車を発表しようとしている。 (発言) (読) 形式段落を見つけることができる。 (教科書)
	2	<ul style="list-style-type: none"> 片仮名と新出漢字の読み書きを練習する。 	(言) 片仮名と新出漢字を正しく読み書きできる。 (漢字スキル・片仮名練習帳)
	3	<ul style="list-style-type: none"> 自動車カードを書くことを知り、学習の見通しを持つ。 全文を読み通し、問いの文を見つける。 	(読) 問いの文を見つけることができる。 (教科書)
2	4	<ul style="list-style-type: none"> バスや乗用車について書かれた段落から、問いの文に対する答えの文を見つけ、「しごと」と「つくり」を読み取る。 	(読) バスや乗用車の仕事とつくりを読み取ることができる。 (教科書・ワークシート)
	5	<ul style="list-style-type: none"> トラックについて書かれた段落から、問いの文に対する答えの文を見つけ、「しごと」と「つくり」を読み取る。 	(読) トラックの仕事とつくりを読み取ることができる。 (教科書・ワークシート)
	6 A組 本時	<ul style="list-style-type: none"> クレーン車について書かれた段落から、問いの文に対する答えの文を見つけ、「しごと」と「つくり」を読み取る。 	(読) クレーン車の仕事とつくりを読み取ることができる。 (教科書・ワークシート)
3	7 B組 本時	<ul style="list-style-type: none"> 定着教材『はしご車』の説明文を読んで、問いの文に対する答えの文をとらえる。 	(読) つくりについて書いてある文を見つけることができる。 (ワークシート)
4	8	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな自動車について仕事とつくりを調べ、簡単な説明文を書く。 	(書) 自分の好きな自動車について仕事とつくりを調べ、説明文を書くことができる。 (ワークシート)
	9		
	10	<ul style="list-style-type: none"> 自分が書いた説明文を紹介し合い、感想を交流する。 	(関) 発表を聞き、感想を交流しようとしている。 (発言・観察)

8 本時の指導計画（A組 6／10時）

(1) 本時の目標

クレーン車について書かれた段落から、問いの文に対する答えの文を見つけ、「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。

(2) 本時の具体の評価規準

A	B	Cへの支援
クレーン車の「しごと」と二つの「つくり」の文を見つけ、仕事とつくりの関係を考えることができる。	クレーン車の「しごと」と二つの「つくり」の文を見つけることができる。	「～しごとをしています。」などの言葉に着目させたり、挿し絵に着目させたりしながら、どういう「つくり」になっているか考えさせる。

(3) 本時の展開

過程	学習活動	○主な発問 ・児童の反応	指導上の留意点
見通す 3分	1 学習場面の確認をする。	○今日勉強する自動車は何ですか。 ・クレーン車です。	・学習課題の文が、問いであることを確認する。
	2 学習課題を確認する。 クレーン車は、どんなしごとをしていますか。そのために、どんなつくりになっていますか。		
深める	3 学習場面を音読する。	○音読しましょう。	・答えを見つけるために読むことを確認する。
	4 答えの文を見つける。	○「どんなしごとをしていますか。」の答えに赤線を引きましょう。 ・クレーン車はおもいものをつりあげるしごとをしています。 ○「どんなつくりになっていますか。」の答えに青線を引きましょう。 ・じょうぶなうでが、のびたり、うごいたりするようにつくってあります。 ・車たいがかたむかないように、しっかりしたあしがついています。 ○大事なことばをワークシートに書きましょう。	・「しごと」に対する答えの文に赤線を引かせる。 ・文末が「～しごとをしています。」となっていることを確認する。 ・「つくり」に対する答えの文に青線を引かせる。 ・文末が「～あります。～ついています。」となっていることを確認する。 ・つくりが二つ説明されていることを確認する。 ・「おもいものをつりあげる」「そのために」「じょうぶなうで」「しっかりしたあし」を書き込ませる。
		〈評価〉 「しごと」と「つくり」の文を見つけることができる。 (教科書)	
	5 「しごと」と「つくり」について読み取る。	○「重いもの」は、どんなものでしょう。 ・鉄の棒です。 ・大きな石です。 ○「じょうぶなうで」や「しっかりしたあし」は、どこでしょう。	・重い物の例を出して、イメージをつかませる。また、「つり上げる」という言葉の理解を図る。 ・挿し絵を見ながら腕や足を確認したり、動作化によって言葉の意味を理解させたりする。

<p>深める</p> <p>39分</p>	<p>6 「しごと」と「つくり」の関係を考える。</p> <p>7 学習して分かったことを書く。</p>	<p>○クレーン車は、どうして丈夫な腕としっかりした足がついているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもいものをつりあげるのが仕事だからです。 ・重いものをしっかりとつり上げられるように丈夫な腕がついています。 ・重いものをつり上げるときにグラグラしないように、丈夫な足がついています。 <p>○今日の学習で分かったことをワークシートに書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「そのために」のはたらきを再度確認しながら、「しごと」と「つくり」の関係を確認させる。 ・友達や家の人に教えるという意識を持って書くようにさせる。
<p>〈評価〉 「しごと」と「つくり」の関係を考えて、学習のまとめを書くことができる。(ワークシート)</p>			
<p>まとめる</p> <p>3分</p>	<p>8 「しごと」と二つの「つくり」を確かめながら音読をする。</p> <p>9 次の学習について見通しを持つ。</p>	<p>○クレーン車の仕事とつくりを確かめながら音読しましょう。</p> <p>○次の時間は、はしご車のお勉強をします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事とつくりに分かれて読んだり、問いと対応させて読んだりすることで、「問いと答え」、「仕事とそのためのつくり」の理解を深めたい。

(4) 板書計画

しごと

クレーン車は、おもいものをつりあげるしごとをしています。

そのために

つくり

じょうぶなうでとしっかりしたあしがついています。

教材文

クレーン車の挿し絵

じどう車くらべ

クレーン車は、どんなしごとをしていますか。そのために、どんなつくりになっていますか。

9 本時の指導 (B組 7 / 10 時)

(1) 本時の目標

問いの文に対する答えの文をとらえることができる。

(2) 本時の評価規準

A	B	Cの児童への支援
つくりを表す言葉を見つけることができる。	つくりについて書いてある文を見つけることができる。	挿絵と教材文を参考にさせる。

(3) 本時の展開

過程	学習活動	○主な発問 ・予想される児童の反応	指導上の留意点
見 通 す 5 分	1 今までの学習をふりかえる。 2 課題を知る。	○ 自動車の「しごと」と「つくり」について学習してきました。 ○ この車は何の車ですか。 ・はしご車	・挿絵を提示する。
	はしご車はどんなしごとをしていますか。そのために、どんなつくりになっていますか。		
深 め る 3 5 分	3 はしご車の仕事についての文を読む。 4 はしご車のつくりを予想する。 5 はしご車のつくりの文章を読む。	○ はしご車の仕事は何ですか。 ・はしご車は、たかいたてものの火じをけすしごとをしています。 ○ どんなつくりになっているでしょうか。 ・はしごがついている。 ・あしががついている。 ○ つくりについて書いてある文にサイドラインをひきましょう。 ・のびちぢみするながいはしごがついています。 ・はしごのさきには、バケットがあり、これにほう水じゅうがついています。 ・うんてんする人はいそいでのりおります。 ○ 大事な言葉を丸で囲みましょう。 ・ながいはしご ・バケット ・ほう水じゅう	・仕事の文を提示する。 ・「しごと」という言葉に着目させる。 ・挿絵を手がかりにさせる。 ・続きの文章を提示する。 ・問いの文を確認する。 ・挿絵で確認する。
	(評価) つくりについてかいてある文をとらえている。 (ワークシート)		
		○ どうしてほかのつくりについて書いてないのでしょうか。	・クレーン車やトラックと比較させる。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 大事なつくりをさきにかいたから ・ クレーン車じゃないから ・ 火事を消すためのつくりを書いたから 	
ま と め る 5 分	8 本時のまとめをする。	<p>○ 今日の勉強でどんなことがわかりましたか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ほかの車には、ないつくりをかく。 といの文 「しごとのためのつくり」をかく。</p> </div> <p>○ 自動車図鑑をつくるときに役立てていきましょう。</p>	

(4) 板書計画

じどう車くらげ

といの文

はしご車

はしご車は、どんなしごとをしていますか。
 そのために、どんなつくりになっていますか。

はしご車は、たかいたてものの火じをけす
 しごとをしています。

はしご車のつくりについての文

はしご車
挿絵

まとめ

ほかの車には、ないつくりをかく。
 といの文「しごとのためのつくり」